



2021年3月18日
株式会社FUJI

トヨタ自動車株式会社が発行する 「Woven Planet 債(ウーブン・プラネット債)」への投資について

株式会社FUJI(代表取締役社長:須原信介、以下「FUJI」)は、トヨタ自動車株式会社(代表取締役社長:豊田章男、以下「トヨタ自動車」)が発行する Woven Planet 債(ウーブン・プラネット債)の一部であるサステナビリティボンド(トヨタ自動車株式会社第 27 回無担保社債(社債間限定同等特約付)、以下「本債券」)への投資を実施いたしました。

本債券は、トヨタ自動車がこれまでも進めてきた安全と環境の問題を解決する取り組みに加え、未来のモビリティ社会の構築に向けた取り組みに対し必要な資金を調達し、SDGs 達成に貢献することを企図して発行されるものです。

このたびFUJIが投資を実施した本債券の発行による調達資金は、以下のトヨタ自動車の環境および社会問題の解決に貢献する事業に充当されます。

- ・先進安全技術および高度運転支援技術の開発・製造による、安全なモビリティ社会の実現、福祉車両の開発・製造による交通弱者への移動機会の提供
- ・BEV や FCV の開発・製造による、自動車走行時における CO₂排出量の削減
- ・再生可能エネルギーに関する投資・支出・出資による、工場・事業所等における CO₂排出量の削減

本債券は「Woven Planet 債フレームワーク(以下、本フレームワーク)」に基づいて発行されます。本フレームワークは国際資本市場協会 (ICMA) が定める「グリーンボンド原則 2018 年版」、「ソーシャルボンド原則 2020 年版」、および「サステナビリティボンド・ガイドライン 2018 年版」に適合しており、第三者評価機関である Vigeo Eiris からセカンド・パーティー・オピニオンを取得しています。そのため本債券は ESG 投資の対象となります。

今後も、株式会社FUJIは持続可能な社会の形成に向けた活動を通じて、社会の公器としての責任を果たしてまいります。